

一般質問

白馬 康進 議員

- まちづくり懇談会のあり方について
- 台湾二水郷との交流について

議員

まちづくり懇談会の
あり方をどう考えるか

町長

運営とテーマの選択に留意していきたい



議員

町長は、毎年実施しているまちづくり懇談会で、住民の意向を聞きながら、まちづくりを進めていきたいと言っています。

「まちづくり懇談会」のテーマ

平成23年

- ・ 認定こども園について
- ・ 自治会からのテーマ

平成24年

- ・ 伸びる医療費、増える負担
- ・ 地域バイオマス利活用構想について
- ・ 空き家・廃屋対策について

平成25年

- ・ 宿泊施設の確保について
- ・ 起業等振興促進条例について
- ・ 高齢者福祉について

しかし、町民からは、既に決まったことの経過説明や報告会のような内容なので、新たなまちづくりの事業に取り組み前に、町民の声を聴く機会の場合となる懇談会にしてほしいという声が多い。

このことを受け止めて、今後の懇談会のあり方を考えてほしいと思うがどうか。

町長

経過説明や報告会というような指摘ですが、その時々に行っている事業説明を入れながら、今後のまちづくりの観点に立ったテーマを入れて進めています。言い換えると、旬のテーマと未来のテーマを織り交ぜながら行っているつもりですが、どうしても旬のテーマの質疑が多くなるために、そのような感想が出てくるかもしれませんので、ご指摘の点に留意し、懇談会の運営とテーマの選択をしていき

たいと思います。

議員

町長は、今後の施策展開のヒントや新規事業の判断材料となる懇談会にしたいと言っています。真に町民の求めているものが伝わっていないような気がします。もっと町民の声を求める懇談会にすべきではないか。

町長

懇談会では、住民の思いや声が出せないとお話しますが、かなりいろんな意見が出されています。ただし今回、宿泊施設の関係がありました。このことについては、どうしても緊急性の伴うことであつて、時間をかけてできない部分もありましたので、ご理解願います。

議員

町と町民とが本当に協働のまちづくりを進めていくとすれば、もっと町民の思いが反映されるような例えば、まちづくり推進審議会のような仕組み作りも必要だし、また考えるべきだと思いがどうか。

町長

総合計画が平成22年から10年間の計画でスタートしていますが、その時まちづくり運営協議会が設置され、既にさまざまな議論がされています。総合計画に基づいて、もう一度点検、見直しをしながら、後期に向かって進めていきたいと思っています。



議員

台湾二水郷との交流を どう進めていくのか

町長 双方で情報交換を行いながら
検討していきたい

議員

台湾二水郷とは平成24年に友好都市提携を行い、今後、相互による新たな交流を深めていきたいと言っていました。が、今日までまったく交流の実態がありません。先方の二水郷にいろいろな問題があるようですが、果たして、交流が進展していく可能性があるのか。

また、相互による中学生同士の交流から始めていきたいと計画をしていましたが、どうなっているのか併せて伺いたい。

町長 二水郷の交流の進め方として、昨年12月に津別中学校吹奏楽部の派遣を考えていたところですが、先方の許郷長が汚職により失職したことが判明し、交流が途絶えてしまいました。

今後の交流については、11月の選挙で新たに郷長が決まるまでは、双方での情報交換を行いながら進め方を検討していきたいと考えています。

議員

これからも交流を進めるような話しをしていますが、今までの経過からみても、また新たに郷長が代わっても、果たして交流が進むかは心配するところですが、本当に進むのか再度伺いたい。

町長

お互いに首長が代わっても、交流に何ら支障が出ることはない、向こうから連絡がありました。私もそう思うので、できることから進めていきたいと考えています。

議員

この交流は町民も注目して

いますので、もっと現状と今後の進展の可能性を、責任を持って情報発信すべきではないか。

町長

このことは、広報に日記として載せていますし、町のホームページにも行政報告として載せています。もう少し様子を見ながら、町民の皆さんにお伝えしていきたいと思っています。

議員

この交流は、実のある成果があつてこそ町民も歓迎するので、中学生の交流だけにこだわることなく、経済交流に主体を置き進めるべきではないかと思うがどうか。

町長

これから、北海道日台親善協会の連合会が発足し、行動計画等々出てきますので、参考にして進めていきたいと思っています。



友好都市提携調印の訪問時の二水郷公所（役場）前

山内 杉 議員

- 福祉の町づくりについて
- 森林バイオマス熱電利用構想について
- 図書活動について
- スポーツ振興について

議員

社会福祉協議会との事業の連携は

町長

地域福祉計画の中で

役割などを明確にしたい



議員

社会福祉協議会が事業を進めるに当たり、事務室を含め施設が狭く、社会福祉の活動に合わないのではないか。

町長

活動が広がり狭くなることも想定されてきますが、代わる場所が今のところないので、当面、現施設を進めていただき、今後移転を含め検討したいと思います。

議員

社会福祉協議会のほうで増員される福祉専門員はどのような方か。

保健福祉課長

社会福祉士の資格を持ち、民間事業所での経験が豊富な即活動のできる30歳代の方と聞いています。

議員

成年後見センターの設置は

いつか。

保健福祉課長

認知症対策推進事業の中で、市民後見人の推進事業を進めています。研修を含め、市民後見人が実際に活動するための支援組織がセンターとなります。26年度中には設置したいと考えています。

議員

障がい者のための相談支援事業所の開設準備を進めてきたと思いますが、具体的にどのようなことか。

町長

今まで町内に相談業務をする所が無く、北見の事業所へ

議員

再生可能エネルギーの活用を図るべきではないか

町長

津別町環境基本計画の中で検討される

議員

本日は3・11の3年目という節目から、町長は原子力発電所について率直にどう考えているのか。

町長

平成24年に、全国の首長に

お願いをしました。それが難しい状態となってきたことから、包括支援センターで対応すべく職員の増員をし研修も終了しています。

議員

日中一時支援事業所の受け入れ施設が狭く、環境的に悪い状態ですが、町有施設での対応はできないのか。

町長

現在の受け入れ施設は、整備段階で補助金等を受けている関係で、移転か改修か判断が難しいと聞いています。町に対して具体的な支援要請があった段階で対応していきたいと考えています。

対してのアンケートで「新規の増設は認めず、政府が決めた寿命40年間の間で廃炉にすべき」と答えており、この考えは今でも変わっていませんが、最大40年を待つことなく、できるだけ早期にという意味

合いで答えたいつもりです。

議員

再生可能エネルギーの活用については、昨年6月議会です質問をしましたが、その後の検討結果について聞きたい。

町長

答申予定の津別町環境基本計画において、地域再生可能エネルギーの導入と活用を掲げています。広大な森林や水など、保有する自然資源の総合的な活用について検討し、先行しているバイオマスをはじめ小水力、風力、太陽光発電など津別町に適した再生可能エネルギーの導入・システムの構築を推進する計画がまとめられています。

また「津別町森林バイオマス熱電利用構想」計画の中で、公共施設での熱利用と再生可能エネルギーの複合利用に向けた検討を行っています。

議員

再生可能エネルギーを推進していくのであれば、行政の責任として情報を住民に見え形にすべきではないか。

町長

道の派遣職員が4月から専

門職員として勤務することなど、関連する情報については広報などで随時お知らせしていきたい。



議員

地域に親しまれる

図書活動を図るべきでは

教育長
地域への対応を
考えていきたい

議員

中央公民館にある図書室は非常に狭く環境も悪いと思いますが、分館や閲覧所、地域への移動貸し出しなどを考えるべきではないか。

教育長

ご指摘の施設が狭いなどの課題解決については、大々的な計画が必要と考えています。

分館だとか分室の選択肢もありませんが、利便性の問題、担当職員の確保など利用者の要望を満たすには、相当の費用を要するので課題とさせていただきます。

新年度から、交通の便、身体機能の関係から出て来られない高齢者に応えられるよう毎月一回程度、活汲、本岐、相生地域に向き貸し出しができるようにしていきたいと考えています。

議員

オリンピックの合宿誘致を検討しては

教育長

合宿地として名乗りを挙げていきたい

議員

オホーツク地域の環境や施設などの好条件を背景に、近隣市町と連携して、東京オリンピックの合宿誘致活動を検討すべきではないか。

教育長

全国的に誘致のための動きが活発化しています。北海道も参加選手団の事前合宿受け

議員

地域への対応を

考えていきたい

議員

中央公民館にある図書室は非常に狭く環境も悪いと思いますが、分館や閲覧所、地域への移動貸し出しなどを考えるべきではないか。

教育長

ご指摘の施設が狭いなどの課題解決については、大々的な計画が必要と考えています。

分館だとか分室の選択肢もありませんが、利便性の問題、担当職員の確保など利用者の要望を満たすには、相当の費用を要するので課題とさせていただきます。

新年度から、交通の便、身体機能の関係から出て来られない高齢者に応えられるよう毎月一回程度、活汲、本岐、相生地域に向き貸し出しができるようにしていきたいと考えています。

ではないか。

教育長

スポーツ講演会や実技講習などは、これまでも主に児童や生徒向けに事業として毎年実施しています。

津別町にゆかりのある現役スポーツ選手や、世界の舞台で活躍されている近隣のトップアスリートを招いて、スポーツの裏に隠れている日々の努力や生き方など聞くことを

26年度の計画の中で検討します。

佐藤 久哉 議員

- 介護保険制度改革について
- 子育て支援センターについて

議員

介護保険制度改革により 町や町民の負担はどうなるのか

町長

サービスの質を落とさず
負担が増えないようにしたい



町長

新しい地域支援事業については、対象者に予防給付の要支援1、2を加え、通所介護と訪問介護を含めた予防介護・生活支援サービス事業として、地域の特性を出した新しい総合事業が展開されることとなります。また、包括的支援事業においても新たな在

議員

新たに組み込まれる事業の財源をどこに求めるのか。

町長

地域支援事業費の総枠につきましては、その町々の保険給付費の3%と決められていますが、市町村ごとに後期高齢者数の伸びを勘案して、これをプラスアルファするという見直しが必要です。

議員

この問題が報じられてから、私を含め町民の皆さんが一番心配しているのは、今までと比べ津別町としてサービスの質が落ちることはないのか、それから新たな負担額が町や町民に加わることはないのかというところだと思います。明確にお答えいただきたい。

町長

第6期の介護保険事業計画が26年度に策定されますが、その中で、多様なサービスの担い手を活用しながら、サービスが落ちないように、費用が掛からないように検討していきたいと思えます。

議員

見直しによって増加する在宅居住系の利用者へのサービスの担い手を、どのように確保しようと考えているのか。

町長

現在、町内においてボランティア団体などが訪問介護や通所介護を実施する状況は整っていないので、現行の生活支援サービスをそのまま新たな総合支援事業を実施しても期待する効果は少ないと考えています。そこで現在、社会福祉協議会が実施している事業の見直しや、新たなボランティア制度の創設などを検討していきます。



地域包括支援センター

議員 国は急激に増加する高齢者に対して、介護保険制度の持続可能性を確立するために制度改革を行い、自立支援型を重視する新たな予防給付システムを打ち出してきました。津別町としては、26年度に策定される第6期介護保険事業計画の中に市町村に移管される事業を盛り込み、新たな地域包括ケアシステムを構築しなければなりません。そこで以下のことを伺いたい。
役割が一層大きくなる地域包括支援センターの人員は足りるのか。

議員

子育て支援センターを

どのように運営するのか

町長

社会福祉法人「夢つべつ」に委託したい

議員

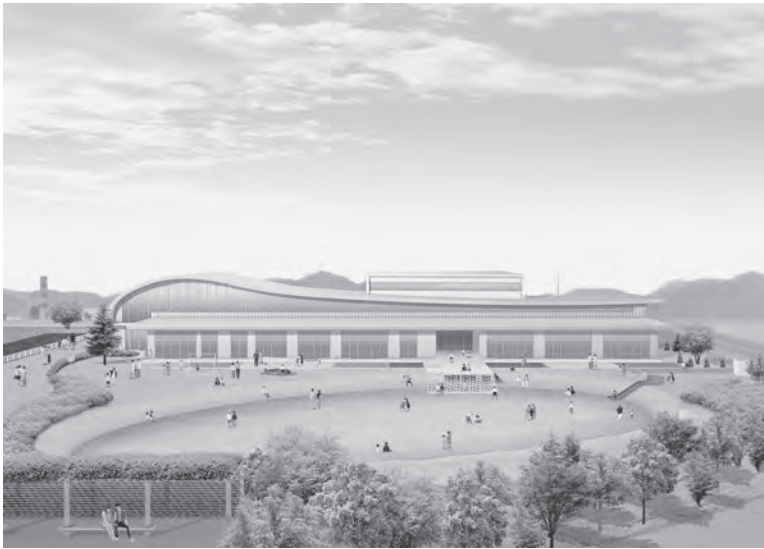
27年度開設する子育て支援センターの事業概要と開設準備の進捗状況を伺いたい。

町長

子育て支援センターは子育て中の親子が気軽に集い、相互交流の子育てに対する不安や悩みを相談できる場を提供しようとするものです。子育て支援センターの実施主体は町ですが、社会福祉法人「夢つべつ」に委託することを想定しており、子育てに関する知識と経験を有する従事者の選定や開設日数などを含め、今後、年間の事業計画に向け子ども・子育て会議の意見を参考にしながら進めていくこととしています。

議員

子育て支援センターに一番大事なのは、人気があるということとみたいです。要するに



子育て支援センターが併設される認定こども園（完成予想図）

ラブ」などの事業に参加し、お互いになじんでいただいで、4月から順調なスタートが切れるように考えてほしい。

町長

そのようなことで、いま担当も含めて話を進めている段階です。

特に、子ども・子育て会議の委員の方々の思いもあります。その会議は、行政に対してさまざまな提案や意見を述べることで進めることになっ

議員

千葉県は松戸市では、「子育てにやさしい情報システム」という制度を運用しています。これは登録制なのですが、「子育てみらいカード」というのを発行し、カードの所有者は、市内の協力店で割り引きなどを受けられたり、子育て世代のインターネット普及率が高いところに目をつけ、乳幼児の一時預かりの予約などもネットで行っているということですね。

町長

それをすぐやりましょうということではなかなか言えませんが、今まさしくインターネットの時代ですので、それを使っていくということは当然考えられると思います。人材も含めて、十分対応できるという検証も必要だと思います。そういう中で、今、議員がさまざまな言われたことについても、組み込めるかどうかを今後検討させていただきたい。

一般質問

篠原 眞稚子 議員

- 子育て支援について
- 認定こども園について
- 学力向上について
- いじめについて

議員

子ども・子育て支援事業 計画の進捗状況は

町長 国が示したスケジュールに沿って進んでいる



議員

少子化対策の一環として、

国の施策もエンゼルプラン、次世代育成、そして今回の子ども・子育て支援など進められてきています。子ども・子育て支援事業計画の委員が決まり、既に話し合いなども進んでいるかと思いますが、その進捗状況について伺いたい。

町長

計画の策定については、平成25年8月に、子ども・子育て会議を15人の委員により設置し、支援事業計画に係る二

ーズ調査を終了し、その結果を北海道に報告したところで。今後、本年10月ごろにはサービスマスの見込みとその確保、方策についてまとめ、パブリックコメントを経て、来年3月には北海道に報告することになっていきます。現段階においては、国が示したスケジュールに沿って進んでいるものと考えています。

議員

サロンみたいなことを通して、親育てはできないか。

町長

子どもが健やかに育つことは親の願いではありますが、なかなかうまくいかないことが多いので、不安や悩みを抱えているのが実情かと思えます。その一つの支援策として、認定こども園の建設と併せて、子育て支援センターを併設し

ようとしているところです。26年度の予算で札幌、北見からも講師を呼び、産後ケアの講座やベビーマッサージ、誕生学アドバイザーの話聞くなど、6人の方が来られることになっていきます。

議員

制度や文化の異なる

「こども園」の運営をどう考えるか

町長 津別町に合った幼保一元化の方向性を現場から築き上げたい

議員

保育所は厚生労働省の所管で福祉施設、一方の幼稚園は3歳から就学前までの学校教育法に基づくものですが、制度や文化が異なることも園をどのように運営しようとしているのか。

議員

親の関心は、こども園になるとどれくらいの費用が掛かるのかということではないかと思いますが、どのように決まってくるのか。

町長

保育所と幼稚園という長い歴史の中で、双方の交流はあまりなかったのではないかと考えています。この両方の機能を一元化して、総合的に提供することも園を進めるためには、現在の保育所と幼稚園の実情をしっかりと見つけ直して、津別町に合った幼保一元



化の方向性を現場から築き上げていくことが重要だろうと考えています。

議員

この4月から6月の間に、国から利用者負担の骨格と仮単価が提示されると伺っていますので、その時点でそれを参考として判断させていただきたいと考えています。

町長

利用者負担の関係ですが、

議員

学力向上の取り組み についての具体策は

教育長

学習支援員の
増員を計画している

議員

学力向上について、新聞によると、美幌町では学力テストの結果を公表するとか、北見では学力向上推進委員会というのがあって、既に具体的な取り組みがされているとの報道があり、どこでも頭を抱えている問題なのかと思いません。

教育長は教育方針の中で「9歳の壁」と言われていますが、具体的にはどのようなことを考えられているのか。

教育長

未来ある子どもたちが、発達過程における学習面での最初つまづきは、小学校3、4年生の時期、いわゆる「9歳の壁」といわれる時期に、基礎学力をしっかりと身につけてほしいと考えています。そして、この先、学力面での応用や将来実社会において、生

きる力となる
太い根、土台
となる根を持つ
てもらった
ための対策の一
つとして、津
別小学校に学
習支援員の増
員配置を計画
しました。

議員

いじめについてのアンケート結果は
どうなっているか

教育長

小中学校ともに、
ないとの報告を受けている

議員

2011年大津市の中学2年生の男子生徒が自殺したことから大きな問題となり、「いじめ防止対策推進法」ができ今日に至っていると思いますが、いじめに関するアンケート調査の結果と、対策マニュアルなどがあるのか伺いたい。

教育長

年々深刻化するいじめ問題の解決を図るための法律として「いじめ防止対策推進法」



「アソビバ!つべつ」通学合宿事業

が昨年6月に成立しました。

法律の動きとは別に、道教委の通知に基づき本町も学校などにおけるいじめの未然防止、早期発見、早期対応の取り組みを一層進めるため、いじめの把握のためのアンケート調査を小中学校の全学年を対象に行っており、平成25年度は6月と11月の2回実施しています。さらに、いじめ問題への対応として、いじめを受けたことがあると答えた児童や生徒に対し、アンケート集計後、回答内容がいじめな

のか、けんかなどに当たるとかを判断するため、学級担任のほか、教科担任や部活動などの顧問教師が、児童や生徒の仲間意識や人間関係の変化に留意しつつ、日ごろの当該児童や生徒の行いを見極めるなどの調査を実施しました。アンケートの集計時点では小学生において、過去にいじめに遭ったと答えているものが複数ありましたが、その後の調査でいじめではなかったとの報告を受けています。また、中学生もいじめはなしというところで、本町の実態としてはいじめはなしと報告を受けています。

いじめ対応マニュアルの策定は、現在、各学校の危機管理マニュアルの中にいじめ問題を位置付けて、日常時に報告、連絡、相談を行うなど全職員で確認、対応してきているところですが、また、いじめ防止対策推進法で策定を義務付けられている「いじめ防止基本方針」には、対応マニュアルとなる手引的な内容も盛り込まれることとなり、この3月中に各学校で整備されます。

議員

自治会の統合、区域割りの方向性について

町長

自治会が主体的に行う



議員

自治会連合会と町が連携し、自治会統合ルール検討委員会を設置し、統合、区域の見直しについて協議していますが、実態として思うように効果が上がらないと聞かされているところです。

検討委員会での検討状況について伺いたい。

町長

自治会統合ルール検討委員会は、連合会3役と町が統合、区域割りの基本的ルールを定めようと設置したものです。設置と同時に所期の目的が達成され、その結果ルールがまとまり、一度の会議をもって

終了したところです。

統合は、自治会が主体的に行うものですが、団地造成、住宅建設など、町の事業が自治会に影響を及ぼすこともあり、統合、区域については、現行の地域を基本としながら、話し合いの必要性が生じた場合に、関係自治会、連合会、町が協議して設定しようとするものです。

この中で、昨年のまちなか団地の造成により、旭町第1と第2の境界について、双方の考えを求め連合会役員と町が協議をした結果、区域の境

議員

他に統合、区域割りについて協議している実態があれば伺いたい。

住民企画課長

役員会の中で、統合を対象に4カ所ほど協議をした経過がありますが、一方で統合を望んでも、一方では望まないなど調整がうまくいかない事実もあります。

議員

49自治会のうち、10戸未満の自治会が10以上あり、行事

町長

組織の中に、町が方向性を出していくということは、問題も生じてくると考えています。小さいなりに現状の中でいきたい、高齢化が進んで何とかしてほしいという自治会もあるように聞いています。連合会組織の中で自治会の抱えている問題を十分論議をし、方向性が出され、町のバックアップが必要なきは、全面的に協力したいと考えています。

自治会戸数

自治会名	戸数	自治会名	戸数
幸町	84	東達美	41
本町	75	達美	14
西町	88	西達美	5
東町	98	下最上	5
新町	68	上最上	6
旭町第1	63	高台第1	15
旭町第2	71	高台第2	8
旭町第3	100	豊永第1	25
柏町	51	下美都	6
高台町	65	上美都	7
達美町	49	上里	16
緑町第1	129	共和第1	30
緑町第2	89	恩根第1	6
緑町第3	33	恩根中央	12
共和第2	130	双葉	8
共和第3	116	沼沢	6
共和第4	87	本岐市街	38
豊永第2	130	本岐第2	3
豊永第3	118	木樋	5
豊永第4	153	二又	4
東岡	8	大昭	16
活波第1	14	布川	13
活波第3	11	相生中央	43
活波中央	75	相生第2	30
岩富	14		

平成26年4月21日現在
※戸数は広報配布数

谷川 忠雄 議員

○ 幼稚園に通じる町道の整備及び隣接施設の整備について

議員

幼稚園に通じる町道及び隣接施設の改善整備について

町長

建設時の経過を含め
関係機関と相談したい



議員

町民の期待と注視のことも園は、本年度の町政方針に明記のとおり、来年4月の開園を目指し、いよいよ着工の運びとなります。

こども園への通園は、国道からの往来が主になるとの町の説明です。

そこで、進入路に位置する郵便局は、日ごろ町民が頻繁に利用しており、駐車スペースが狭いとの声があります。

また、こども園の送迎車両は、局舎側を主にするとの話であり、道路幅も決して広く

なく、時間帯により徒歩や車両往来がさらに増大し、交差時などを含めて接触、人身事故なども憂慮される状況にあり、駐車台数は5台程度となっており、局の利用者の路上駐車も見受けられます。

以上のことから、該当する町道は歩道幅も狭く、街路樹の植栽もあり、冬期除雪にも支障があると判断されます。また、日々の園児の通園に当たり、歩行路での安全にも課題があると思われしますので、町は交通安全確保の面から局側の縁石を低くするなど、可能な範囲で車両の出入りを含め、駐車場の最善策を検討すべきと思うが伺いたい。

町長

冬期の歩道確保は重要ですので、除雪を行い園児の安全に努めます。また、車道で車両走行に支障がある場合は、

排雪を行い安全を確保します。

議員

この路線は事故の未然防止や安全のため、開園前の整備を前提に、なるべく早期に局舎前の前庭を改善し、10台程度の駐車スペースを確保するのと併せて、車両の出入りが円滑となるよう郵便局や開発などの関係機関に要望してはどうか。

町長

郵便局前の駐車場の確保は、現在前庭は小公園的なスペース

スで冬期は雪の堆積場になっており、ここに駐車場を増設するという要請については、局舎新築時の経過や経費面を含め、局側の話を伺いたいと思います。

議員

町長の答弁は理解しましたが、局の持ち物ですから町の都合どおりにはいかないと思いますが、町民の困り事の声を受け、難しい課題を精力的に努力いただくことを再度要望し、結論が出た時点で報告をお願いしたい。



町道173号線